



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

## 2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次  
地区ガバナー 石川 正一  
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」  
クラブ会長 原田 毅

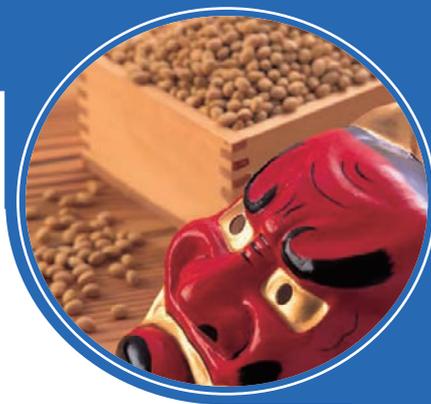
## 本日の卓話

### 会員卓話2

古谷会員、小林博会員

## 今後の卓話予定

2/20 地区大会へ移動例会 (沖縄宜野湾コンベンションセンター)  
2/27 「未定」 東葛東 R.C. との合同例会



2013 年 2 月 13 日

第 1303 回例会

会長 原田 毅  
幹事 宮村 義男



年間100%出席

加藤 昭雄 君 5回 斎藤 彰悟 君 5回  
高木 祐輔 君 4回

## 前回 (2/4 1302 回例会) の記録

### 来訪者紹介

◆ゲスト 0名  
◆ビジター 0名

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
45名	2名	4名	32名	7名	82.05%	1300回例会修正 欠席5名・出席率87.50%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に!

## 3クラブ合同例会

(東京浅草 R.C. 東京上野 R.C. 東京浅草中央 R.C.)



## ニコニコボックス

<原田会長、宮村幹事>

- ・本年度の3クラブ合同例会を祝して、手嶋先生、卓話宜しくお願ひ致します。

<山尾、柘、中村、藤掛、太田、古谷、松本、吉田、斎藤、上野、海内、上原、岩戸、大塚>

- ・3クラブ合同例会を祝して!!

### 3クラブ合同例会卓話

## 「動乱の東アジアを生き抜く」



外交ジャーナリスト、作家  
手嶋龍一氏

#### プロフィール

NHKの政治部記者として首相官邸、外務省、自民党を担当。ワシントン特派員としてアメリカに赴任し、冷戦の終焉に立ち会う。湾岸戦争では最前線へ。その後、ハーバード大学CFIA・国際問題研究所に招聘される。続いてボン支局長を経てワシントン支局長を8年間にわたって務める。この間、ブッシュ大統領をはじめ、重要閣僚の単独インタビューを数多くこなした。2001年9.11の同時多発テロ事件に際しては、11日間の昼夜連続の中継放送を担い、冷静で的確な報告で視聴者の圧倒的な支持を得た。2005年HNKから独立し、日本で初めてのインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』を発表。姉妹篇『スギハラ・ダラー』とあわせて50万部の大ヒットに。『たそがれゆく日米同盟』『外交敗戦』『インテリジェンスの賢者たち』は新潮文庫のロングセラーとして読み継がれている。2011年12月、大型ノンフィクション『ブラック・スワン降臨』（新潮社）を上梓。2012年10月、『動乱のインテリジェンス』（佐藤優共著、新潮新書）が緊急出版された。また、慶應義塾大学大学院教授として後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

アルジェリア人質事件でテロの被害にあった日揮は、最も優れたインテリジェンス能力をもっている。(命運をかける決断の基となるものが、インテリジェンスである)が、日本はその分野で大きく遅れている。

「インテリジェンスのサイクル」を作っておかねばならなかったが、それがなかった為、東北大震災の時、菅総理は対応を誤った。アメリカは、オサマ・ビンラディンをとらえる時、これをフルに駆使した。

今年も動乱の年のスタート。世界の指導者が大きく変わった。

六カ国協議(米国・ロシア・中国・韓国・日本・北朝鮮)の議長国を中国とした為、議事が全く進んでいない。中国は海洋強国をめざしている。尖閣は防衛戦の要である。「中国の真珠の首飾り戦略」をもって、勢力を拡大しようとしている。日本はまさに邪魔者である。それに対し、米国の普天間に集中していた海兵隊がオーストラリアのダーウィンに移っている。アメリカはアジア太平洋地域を、最重視しているが、日本はこれでいいのだろうか。

TPPについては、2つの選択肢がある。

- ① アメリカを中心とするTPP(10年間で米の関税撤廃など)
- ② 日中韓FTA

ただし、日本はアメリカの要求を拒めないのではないか。

かつて鳩山総理は、「東アジア共同体構想」を出し、アメリカを排除し、中国・日本が中心になると語り、アメリカとの関係を悪化させた。

石原氏は、私財をはたいても自分で、尖閣を買い取るべきであった。暴走老人のせいにできた。(募金16億円+ $a$ )

日本の“守るべき一線”がどんどん犯されている。例えば、中国漁船事件。救世主として、アメリカのヒラリー・クリントン国務長官。「尖閣に安保適用」と発言。これが今、中国をおさえている。

あくまでも慎重に対応せねばならない。